

自由研究発表Ⅱ－第1分科会

B109

司会者 広島大学 木村 博一
信州大学 篠崎 正典

- (1) 都立高校における初期社会科「時事問題」の授業実践について
慶應義塾大学 太田 正行
- (2) 昭和初期における東京女子高等師範学校附属小学校の作業主義地理教育論
－「読図力」の養成と「地理的理法」の発見の理論をもとに－
愛媛大学 福田 喜彦
- (3) 初期社会科における「ごっこ遊び」の系譜
流通経済大学 市川 新
- (4) 昭和戦前期郷土研究室の所蔵資料と師範学校間における情報共有
－奈良教育大学所蔵資料の分析を中心に－
奈良教育大学 板橋 孝幸
奈良教育大学 岩本 廣美
- (5) 奈良県師範学校が設置した郷土研究室と収集資料
－目録及び生徒の調査活動記録に注目して－
奈良教育大学 岩本 廣美
奈良教育大学 板橋 孝幸

自由研究発表Ⅱ－第2分科会

B110

司会者 国士舘大学 北 俊夫
岐阜大学 須本 良夫

- (1) 社会科における問いのつながり
－「単元を貫く問い」を組み入れた授業設計－
静岡大学附属静岡小学校 平松 裕
静岡大学附属静岡小学校 永倉 大樹
静岡大学附属静岡小学校 森 栄温
- (2) 小学校社会科における実感的な学び（その4）
－第6学年 くらしと政治・世界の人々と日本を例に－
東京学芸大学附属小金井小学校 根本 徹
- (3) 活用力を育てる社会科授業の創造
－5年水産業の盛んな地域を事例にして－
江東区立第五大島小学校 香川 稔
帝京大学 向山 行雄

- (4) 価値判断力を育成する社会科授業
 ー富士山の文化的価値を考える学習を通してー

筑波大学附属小学校 梅澤 真一

- (5) 特別活動と社会科学習を関連させた指導法
 ー実践上の課題から指導のあり方を探るー

北海道教育大学岩見沢校 田山 修三

自由研究発表Ⅱー第3分科会

B111

司会者

上越教育大学 茨木 智志
 兵庫教育大学 原田 智仁

- (1) 歴史学習における「『問』と『答』との間」の捉え方

牛久市立中根小学校 石上徳千代

- (2) 「学ぶ観光」の不在にみえる歴史教育の課題

東洋大学 須賀 忠芳

- (3) 琉球・沖縄史を位置付けた小学校歴史学習カリキュラムの開発研究
 ー「いくつもの日本」を意識した歴史学習へー

東大阪市立縄手東小学校 澁谷 友和

- (4) 世界遺産の視点を組み込んだ文化学習の展開(Ⅱ)
 ー中学校社会科における鎌倉文化の実践を通してー

清和大学 小松 伸之

- (5) 「社会科伝統・文化学習」の転回と構築ー
 ー『昭和22年版(試案)』にみられる「社会科伝統・文化学習」についてー

文教大学 吉田 正生

自由研究発表Ⅱー第4分科会

B214

司会者

東京学芸大学 大澤 克美
 袋井市立袋井北小学校 神田 明治

- (1) 社会的な見方や考え方を養う社会科学習
 ー第4学年 より広い視野から見る「わたしたちの“東京都”(東京マラソン)」の実践を例にー

多摩市教育委員会	石井 正広	東京都教育委員会	森 清隆
小平市教育委員会	志村 安	渋谷区立笹塚小学校	北川 大樹
八王子市立恩方第二小学校	塚島 敬太	江戸川区立葛西小学校	辻 慎二

- (2) 社会的な見方や考え方を養う社会科学習
 ー第5学年 「持続可能な水産業」の実践を例にー

日野市立夢が丘小学校	神野 幸隆	東京都教育委員会	國長 泰彦
八王子市立陶鎔小学校	島田 学	東京都教育委員会	秋田 博昭

(3) 社会的な見方や考え方を養う社会科学習

－第6学年 「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会における国際交流」の実践を例に－

中野区立西中野小学校	杉渕 尚	東京都教育委員会	児玉 大祐
東京都教育委員会	間嶋 健	日野市教育委員会	長崎 将幸
港区立南山小学校	山崎 禎久	八王子市立第八小学校	向井隆一郎

(4) 確かな「見方や考え方」を鍛え、自ら社会に参画する態度を育てる社会科学習

－4年社会科「札幌市の除雪は世界一?!」の実践を通して－

札幌市立山の手南小学校	佐野 浩志
-------------	-------

(5) 身につけた見方や考え方を生かして、社会的事象の意味を考える子の育成

東京学芸大学附属小金井小学校	小倉 勝登
東京学芸大学附属小金井小学校	根本 徹
東京学芸大学附属小金井小学校	牧岡 俊夫

自由研究発表Ⅱ－第5分科会

B215

司会者	帝京大学	中山 京子
	大阪教育大学	峯 明秀

(1) 統合社会科カリキュラム開発における条件と機能

－行動主義的目標から構成主義的認知枠組みへの米国 NCSS スタンドールの改訂を事例として－

東京大学大学院	堀田 諭
---------	------

(2) 社会科カリキュラムの生態学的研究

－プラン・PDCA・学習環境デザインを超えて－

佐賀大学	佐長 健司
------	-------

(3) 新しい農業学習に関するカリキュラム開発①

－養蜂と組み合わせ直売の良さを生かしたメロン栽培－

荒川区立第二峡田小学校	菅原周一郎	荒川区立第二峡田小学校	小林 涉
板橋区立第十小学校	盛 裕史	板橋区立第十小学校	丸野 陽子
板橋区立第十小学校	石橋 昌雄	板橋区立第十小学校	市川 賢治

(4) 新しい農業学習に関するカリキュラム開発②

－都会で育てる完熟ブルーベリー栽培－

板橋区立板橋第十小学校	石橋 昌雄	板橋区立板橋第十小学校	奥村 菜月
板橋区立板橋第十小学校	豊田 花梨	立川市立第九小学校	村本 道子
西東京市立向台小学校	野中 哲平	武蔵野市立本宿小学校	萩原 渚

(5) 「子どもの貧困問題」を小中高社会系教科でいかに取り扱えばよいか

－カリキュラム開発試案－

西九州大学	松井 克行
-------	-------

- | | | | |
|-----|--|----------------|---------------|
| | 司会者 | 筑波大学
京都文教大学 | 伊藤 純郎
澤 達大 |
| (1) | 1950年代前半における「新しい郷土教育」実践の創造過程に関する検討
－郷土教育全国連絡協議会の「理論」と「実践」の関わりに焦点を当てて－ | 愛知東邦大学 | 白井 克尚 |
| (2) | 野外調査を取り入れた小学校市町村学習の実態と考察
－群馬県前橋市を事例として－ | 上越教育大学大学院 | 大崎 賢一 |
| (3) | 本校地理歴史部・6年間の実践
－ことに、地歴巡検（フィールドワーク）を中心に－ | 愛知県立御津高等学校 | 伊藤 正英 |
| (4) | 教員養成大学における社会科教員としての資質能力育成と社会科副読本の作成
－学部生による地域教材開発力の育成の試み－ | 愛知教育大学 | 伊藤 貴啓 |
| (5) | フィールドワークと授業構想・授業実践を繋ぐ学部生の授業力育成
－学部3年生のチームによる社会科授業づくりへの取り組み事例を通して－ | 新潟大学 | 宮菌 衛 |

- | | | | |
|-----|---|-------------------|----------------|
| | 司会者 | 国立教育政策研究所
三重大学 | 樋口 雅夫
山根 栄次 |
| (1) | 経済リテラシーの向上をめざした中学校公民的分野の学習指導の在り方
－授業の実際と事後調査の検証を中心に－ | かすみがうら市立千代田中学校 | 岡野 英輝 |
| (2) | ものの値段から経済的因果関係を理解する社会科授業の開発 | 筑波大学大学院 | 呂 光暁 |
| (3) | 新自由主義を題材とした「効率と公正」を学ぶ経済教育 | 三重大学大学院 | 大富 友貴 |
| (4) | 経済的意思決定における数理の働き
－数理テストとゲームパフォーマンスの分析を通して－ | 長崎大学 | 福田 正弘 |
| (5) | 租税教育の今日的意義と課題
－なぜ税は“とられる”のか？－ | 愛知教育大学 | 真島 聖子 |

- | | | | |
|--|-----|-------------------------------------|------------------------|
| | 司会者 | 広島文化学園大学
鳴門教育大学 | 二階堂年恵
西村 公孝 |
| (1) 市民的資質の育成を目指す法教育の可能性
－学校間連携システムの構築－ | | 掛川市立大須賀中学校
掛川市立桜ヶ丘中学校
静岡県弁護士会 | 高橋 恒明
岡田 智之
原 道也 |
| (2) 法教育における「契約自由の原則」
－契約の持つ公共性－ | | 南足柄市立岡本中学校 | 村上 揚 |
| (3) 考える力を育成する法教育に関する一考察
－紙上討論と演劇を活用した実践－ | | 神奈川県立平塚農業高等学校初声分校 | 金子 幹夫 |
| (4) 法教育における模擬裁判の効果的活用
－公民的資質育成の観点から－ | | 平塚市立江陽中学校 | 米倉 順 |
| (5) 交渉教育と法教育の連携・融合の可能性
－公民(市民)教育の充実策の一つとして－ | | 筑波大学
東京都立雪谷高等学校 | 江口 勇治
小貫 篤 |

- | | | | | |
|---|-------------------------------|-------------------------|-------------------------------|------------------------|
| | 司会者 | 静岡大学
帝塚山学院大学 | 井柳 美紀
工藤 文三 | |
| (1) 社会科教育における男女共同参画教育の構想
－スウェーデンの教育を手がかりとして－ | 秋田大学大学院
秋田大学大学院
秋田大学大学院 | 田島 駿己
本間 隆造
鎌田 達也 | 秋田大学大学院
秋田大学大学院
秋田大学大学院 | 鮎川 博晃
阿部 修之
嶽石 涼 |
| (2) 社会系教科におけるネットリテラシー教育の単元構想
－公民教育を中心として－ | 秋田大学大学院
秋田大学大学院
秋田大学大学院 | 鮎川 博晃
本間 隆造
鎌田 達也 | 秋田大学大学院
秋田大学大学院
秋田大学大学院 | 田島 駿己
阿部 修之
嶽石 涼 |
| (3) 「政治的リテラシー」の評価のあり方を探る | | お茶の水女子大学附属小学校 | 岡田 泰孝 | |

(4) 選挙体験授業による有権者教育

－「未来の福島県知事選挙」を手がかりとして－

福島県立田村高等学校 小田 賢二

(5) 行政・大学・高校の連携による模擬県知事選挙とその効果

信州大学 松本 康
信州大学 関 良徳

自由研究発表Ⅱ－第10分科会

G104

司会者

千葉大学 戸田 善治
宮城教育大学 松岡 尚敏

(1) 小学校社会科における段階的社会参加学習

高浜市立翼小学校・愛知教育大学大学院 浜下 洋之

(2) 児童が主体的に社会に関わろうとする社会科学習の在り方

－「子どもが創る 防災フェスタ」2年目の実践－

鴨川市立鴨川小学校 粕谷 昌良

(3) 自助・共助・公助の視点から社会に参画する態度を育てる教材の開発

－6年生社会科「暮らしの中の政治」札幌市の雪対策をとおして－

札幌市立屯田北小学校 朝倉 一民

(4) ESDの視点を導入した中学校社会科公民的分野における社会参加学習の単元開発と実践

釧路市立鳥取西中学校 福田 貴志

(5) 身近な地域の経済活動と環境教育(18)

－「社会貢献意識」の上級学校への接統－

名古屋商科大学 竹澤 伸一

自由研究発表Ⅱ－第11分科会

G202

司会者

広島大学 草原 和博
高千穂大学 鈴木 隆弘

(1) 社会科教育における暴力・戦争を認識するパラダイム

四日市市立羽津小学校 井川 和道

(2) 「原爆はなぜ落とされたのか」

－広島修学旅行・事前学習－

北海道北見柏陽高等学校 斉藤 満幸

(3) ホロコースト教育の変遷

－変化する社会のなかで－

筑波大学 柴田 政子

- (4) 戦後日本の平和教育への一考察
 ー日教組全国教研の平和教育実践を中心にー

東京都立国分寺高等学校 西尾 理

- (5) 教員研修における平和教育
 ー広島市，長崎市，那覇市の取り組みを事例としてー

秋田大学 外池 智

自由研究発表Ⅱー第12分科会

G204

司会者 宇都宮大学 溜池 善裕
 神戸大学 吉永 潤

- (1) 「創造的調停」に向けた論争的問題の導入
 ーお茶小における「八ッ場ダム」実践をてがかりにー

東京大学大学院 田中 智輝
 お茶の水女子大学附属小学校 岩坂 尚史
 東京大学大学院 村松 灯

- (2) 子どもの発想を生かす教材開発と聞く力の醸成
 ー商店の授業，食料生産の授業の教材開発を通してー

岡崎市立六名小学校 恒川 徹

- (3) ディベート授業「トロイア戦争は史実か」実践報告

二松学舎大学附属柏中学校・高等学校 鈴木 慎也
 青山学院高等部 藤本 晃裕

- (4) 言語活動の充実を目指した授業実践
 ーマンダラチャートを活用したパラグラフィティングからの考察ー

関西大学高等部 大谷 和海

- (5) ワークショップ型社会科の授業構成ストラテジー

山形大学 江間 史明

自由研究発表Ⅱー第13分科会

B212

司会者 東北学院大学 坪田 益美
 皇學館大学 深草 正博

- (1) 国際バカロレア（IB）の手法による歴史的背景を重視した時事問題学習

東京学芸大学附属国際中等教育学校 山本 勝治
 東京学芸大学附属国際中等教育学校 小松 万姫

- (2) 国際関係論を踏まえた総合学習「国際理解」の試み
 ー三重苦は乗り越えられたかー

東京都立小石川中等教育学校 新井 明

- (3) 歴史教科書に見るインドネシアの多文化
ーパンチャシラの成立と変容ー

愛知教育大学大学院 スヤンティ

- (4) 道内中学校の社会科におけるアイヌ民族の取り扱い

苫小牧駒澤大学 伊藤 勝久

昼食

11 : 30~12 : 30

課題研究 I 「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代」と社会科の学力 B110

〔趣旨〕

「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代にある今」。文部科学省『学習指導要領解説社会編』（2008年）が指摘する「社会の変化」です。このような「時代にある今」、社会科はどのような学力を子どもに身につけさせたらよいのでしょうか。また、それは、どのような授業で可能なのでしょうか。具体的に議論したいと考えます。

コーディネーター	東洋大学	栗原 久
	愛知教育大学	土屋 武志
基調提案者	国立教育政策研究所	二井 正浩

報告者

- (1) 知識の更新・再構成と社会の動向への関心を促す授業の必要性
 —小学3年「学校のまわりには、どこに、何があるのかな」の実践より—
 裾野市立千福が丘小学校 稲葉 智則
- (2) 「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代」と社会科の学力
 —自分の言葉で説明できる自作の図解を構想させよう—
 筑波大学附属中学校 関谷 文宏
- (3) 「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代」と社会科の学力
 —ODAを計画してみよう—
 千葉県立千葉工業高等学校 藤井 剛
- (4) 韓国の初等社会科教育課程におけるキー・コンピテンシー
 韓国光州教育大学校 李 貞姫

課題研究 II シティズンシップ教育の授業を問い直す B111

〔趣旨〕

近年、変化する社会に生きる子どもに必要なシティズンシップの育成を目指して、多様なシティズンシップ教育を取り入れた社会科の授業の可能性が模索されています。文部科学省『学習指導要領』（2008年）でも、子どもに社会参画力を培う重要性や、多様なシティズンシップ教育の方向性が示されています。シティズンシップ教育を取り入れた社会科授業は、従来の社会科授業とどのような点が異なっているのか検討します。

コーディネーター	宮崎大学	吉村功太郎
	埼玉大学	桐谷 正信

報告者

- (1) シティズンシップ教育としてのモビリティ・マネジメント教育
 —交通渋滞を考える実践を通して—
 宮田村立宮田小学校 市川 武史
 埼玉大学 桐谷 正信

- (2) 熟議民主主義に基づく中学校社会科授業の実践
 -3 学年 地方自治「加須市のごみ問題を考える」-

加須市立加須平成中学校 大谷 直紀
 宮崎大学 吉村功太郎

- (3) 選挙シミュレーション教材を使った有権者教育の成果
 -「あなたの一票は政治を変えることができるか?」を考えさせる授業を例として-

岡山県立岡山芳泉高等学校 黒田 和義
 川崎医療短期大学 中原 朋生

課題研究Ⅲ ESD で社会科はどう変わるか? B218

[趣旨]

ESD は、今の世代だけではなく、将来の世代の利益や幸福にも配慮した公正な社会のあり方を考えさせる教育です。現在、ESD の理念は学校教育全体に広く浸透し始めています。ESD は、これからの社会科の授業やカリキュラムをどのように変えていくのでしょうか。その姿を、なるべく具体的に明らかにしていきたいと思えます。

コーディネーター 早稲田大学 池 俊介
 岡山大学 桑原 敏典

報告者

- (1) ESD における批判的消費者学習としての社会科授業構成
 -第5 学年単元「自動車から見える世界、そして、自分へ」を例に-

竜王町立竜王西小学校 松浦 雄典

- (2) ESD の視点を取り入れた中学校社会科の学習指導の在り方
 -地理、歴史、公民の三分野制の特性を生かして-

練馬区立開進第一中学校 池下 誠

- (3) ESD の観点を導入した世界史教育内容開発
 -世界遺産から迫る単元「産業革命とアフリカ」-

兵庫教育大学大学院・奈良県立法隆寺国際高等学校 祐岡 武志

- (4) ESD としての社会科授業の原理と方法
 -意思決定のプロセスに着目した社会科授業改革-

岡山大学 桑原 敏典

課題研究Ⅳ 社会科における教育実習の課題 G104

[趣旨]

教育実習は社会科の教員養成に重要な役割を果たしてきたにもかかわらず、その指導内容が具体的に検討されることはほとんどありませんでした。昨年の大会における活発な議論から見えてきた実習生の問題意識の醸成・力量形成の問題、実習生同士の協働的省察のあり方、実習指導の責任の所在などの中から、焦点を絞って議論を深めたいと思えます。

コーディネーター 元千葉県公立高等学校 加藤 公明
 東京学芸大学 川崎 誠司

報告者

(1) 授業観を変えた教育実習

千葉県立木更津高等学校 時田 朋子

(2) 地域と人間のかかわりを考える

—地域に生きる人々への聞き書きを通じて—

奈良女子大学附属中等教育学校 北尾 悟

(3) 教育実習での教科指導の諸問題

成蹊大学 木内 剛

課題研究Ⅴ 「歴史基礎」「地理基礎」の可能性

G204

〔趣旨〕

2011年に学術会議が高校地歴教育の改革について提言を出しました。その柱が「歴史基礎」「地理基礎」の新設です。これは、高校の社会系科目の在り方を大きく左右しますが、学校現場では十分に認知されていません。高校や中学校で教鞭を執る会員も多い本学会の特性を活かし、「歴史基礎」「地理基礎」の問題を検討したいと思います。

コーディネーター 弘前大学 篠塚 明彦
東京都立大森高等学校定時制 佐藤 亨

報告者

(1) 歴史基礎と思考力育成型授業の提案

—日本学術会議の提言とアンケート結果の分析—

東京女子大学 油井大三郎

(2) 世界史・日本史の統合から身近な地域・事象へ

—自分と日本史・世界史との結びつきに関する認識の育成を—

東京都立墨田川高等学校 加藤 健

(3) 「地理基礎」〔案〕作成の背景

—なぜ高校で「地理」が必要か—

筑波大学 井田 仁康

(4) 「地理基礎」の学習内容と課題

—研究開発学校の実践を踏まえて—

埼玉県立浦和第一女子高等学校 浅川 俊夫

※司会者のお名前は、五十音順に記載しています。

※大学院重点化による大学院大学の所属につきましては、大学院生との区別をはっきりさせるために、便宜上大学名で記載させていただきました。